

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： R6年 4月 15日

事業所名 放課後等デイサービス シャロム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		活動によって適切な場所で行っている。	今後も継続して行っていく。
	2	職員の配置数は適切である	5		適切である。	今後も継続して行っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	該当児童には確認を行い対応している。	再度、該当児童に確認を行い、必要であればスロープ等の設置を行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1		全員が把握できるマグネットを使い1日の全体での動きを把握できるようにする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		年に1回行っている。	今後も継続して行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		公開している。	今後も継続して行っていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		設置している。監査が行われた。	今後も継続して行っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		確保している。	来年度はスキルアップ研修を体系的に取り入れていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		必要に応じて相談員さんと話している。	今後も継続して行っていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	ST等独自で作っている。	今後も継続して行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		月初めに全員で月の活動を決め、順番で行うよう検討する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		毎日異なる活動をしている。外出時も初めての場所に多く訪問している。	今後も継続して行っていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		子ども一人ひとりに支援を行っている。	今後も継続して行っていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			今後も継続して行っていく。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3	現状時間をとることができていない。	毎日昼食後に時間を決めて会議を行う。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	その場にいた職員同士でのみ行っていた。	翌日の会議で行う。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		記録は残しているが、担当者等は決めていない	翌日の会議で行う。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		立ち話では行っているが、面談等はできていない。	計画的に面談できるように検討する。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5			今後も継続して行っていく。	
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			今後も継続して行っていく。
		21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5			今後も継続して行っていく。
		22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	去年に比べて病院→母親→シャロムの連絡体制はとれた。	今後は直接病院との連絡が取れるようにする。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		該当児童がいないが、来た時には積極的に行いたい。	
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1		該当児童がいないが、来た時には積極的に行いたい。	
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	職員にSVがいる。	今後は他の職員も研修を検討する。	
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5		年1回の地域イベントや、ボランティア等を行っている。	今後も継続して行っていく。	
27		(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	5		毎月参加している。	今後も継続して行っていく。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		子どもたちの帰りの送迎の際に行っている。	今後も継続して行っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5	支援できる職員がいないが、保護者に子育て障がいに関する研修会はお知らせ	現在支援できる職員がいないため、保護者支援の技法を積極的に学んでいきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		行っている。	今後も継続的に行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		相談があれば話すようにしている。お迎え時に必要に応じて面談を組んでいる	今後も継続して行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		年一回保護者会と参観日を作り交流の機会を作っている。	今後も継続して行っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			今後も継続して行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	Facebookとグループラインで行事のお知らせを発信している。	会報はこれから検討する。
	35	個人情報に十分注意している	5		Facebook等にあげる際には確認を取り、顔を隠している。	今後も継続して行っていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			今後も継続して行っていく。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		年1回で開催している。週末は場所の提供もしている。	今後も継続して行っていく。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	4	マニュアル等作成している。	保護者への周知はできておらず、周知の方法は要検討。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		年2回行い、消防に届出を出している。	今後も継続して行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			今後も継続して行っていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			今後も継続して行っていく。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			現在、該当児童がいないが、今後はそのような対応をしていきたい。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		最新の事例集を作成する。